

第159期

中間報告書

2022年4月1日～2022年9月30日



株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

2022年度上期は、原燃料価格の高騰に加え、円安も手伝った急激な原価上昇に対応して、化学品やセメント、半導体関連製品などで販売価格修正を進めたこと等により、売上高は前年同期比25%増の1,663億円となりました。研究開発への注力や物流費の高騰など販管費の上昇もあり、営業利益は29%減の82億円となりました。

現在進めている「中期経営計画2025」では、電子・健康・環境を成長事業と位置づけ、エネルギー多消費型事業から価値創造型事業への転換を強力に推進しています。7月に、水素を製造する「アルカリ水電解装置」の事業化を目指し、先進技術事業化センター（山口県柳井市）に製作・開発拠点の開設を決定、また9月には、同センターに電子部材の放熱に用いる「窒化

アルミニウムフィラー」の量産検討拠点の開設を決めました。両拠点は2023年度に稼働予定です。健康分野では、鹿島工場において、歯科充填用コンポジットレジン等の生産能力増を決定しました。

10月に通期の業績予想について、売上高を100億円増の3,700億円、営業利益35億円減の210億円に修正しました。原燃料を中心として引き続きコスト上昇が見込まれるためですが、各種製品への価格転嫁とコスト低減策を継続し、利益確保に努めてまいります。なお、業績を修正しましたが、中間配当は予定どおり前年同額の35円を実施いたします。期末配当も35円を予定し、年間で70円となります。

今後も企業価値向上に引き続き努めてまいりますので、株主の皆様におかれましては、一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

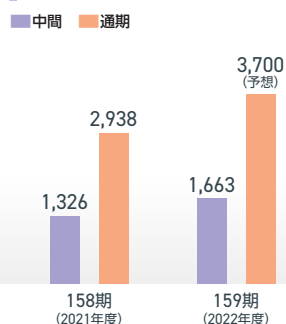


2022年12月

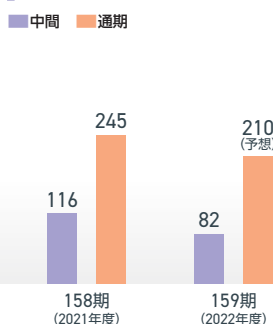
株式会社トクヤマ
代表取締役
社長執行役員

横田 浩

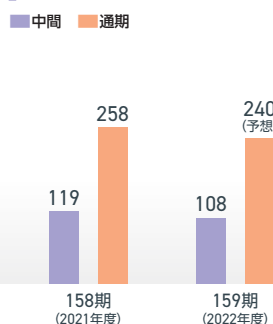
売上高 (億円)



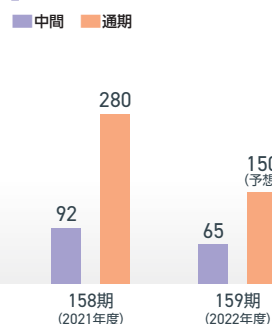
営業利益 (億円)



経常利益 (億円)



親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益 (億円)





化成品

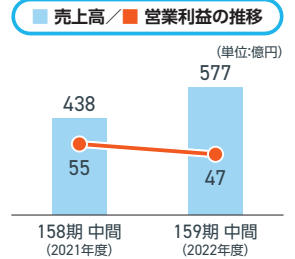
売上高 **577億89百万円** (前年同期比 **31.7%増**)



苛性ソーダは、原燃料コストの増加はありましたが、国内の販売価格への転嫁を進めたこと、及び輸出価格が上昇したことにより、増益となりました。

塩化ビニルモノマー及び塩化ビニル樹脂は、原燃料価格の上昇で製造コストが増加したこと等により、減益となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は577億89百万円(前年同期比31.7%増)、営業利益は47億54百万円(前年同期比14.8%減)で増収減益となりました。



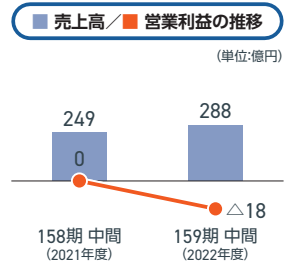
セメント

売上高 **288億61百万円** (前年同期比 **15.6%増**)



セメントは、出荷は前年同期並みであり、販売価格は正に努めたものの原料価格の上昇による製造コストの増加に伴い、損益が悪化しました。

以上の結果、当セグメントの売上高は288億61百万円(前年同期比15.6%増)、営業損失は18億11百万円(前年同期は営業利益5百万円)となりました。



電子材料

売上高 **413億41百万円** (前年同期比 **22.2%増**)



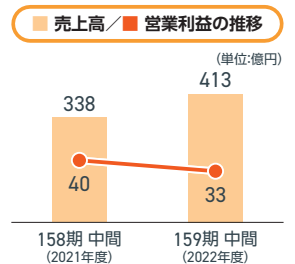
半導体向けの多結晶シリコンは、販売価格修正を進めたものの、原燃料価格の上昇に伴う製造コストの増加により、減益となりました。

ICケミカルは、半導体向け用途の需要は堅調であり、販売価格修正を進めたものの原料価格の上昇等により、減益となりました。

乾式シリカは、原料コストの増加はありましたが、国内の販売価格修正が進んだこと、及び輸出価格が上昇したこと等により、増益となりました。

放熱材は、販売数量は堅調に推移したものの、研究開発費の増加等により、前年同期並みの業績となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は413億41百万円(前年同期比22.2%増)、営業利益は33億63百万円(前年同期比17.4%減)で増収減益となりました。



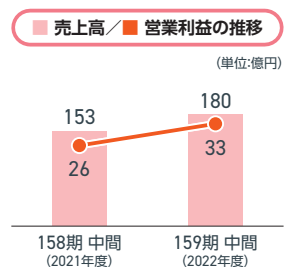
ライフサイエンス 売上高 **180億11百万円** (前年同期比 **17.0%増**)



歯科器材は、海外向けを中心に出荷が増加したことにより、増益となりました。

医薬品原薬・中間体は、ジェネリック医薬品向けの販売数量が堅調に推移し、増益となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は180億11百万円(前年同期比17.0%増)、営業利益は33億16百万円(前年同期比25.9%増)で増収増益となりました。



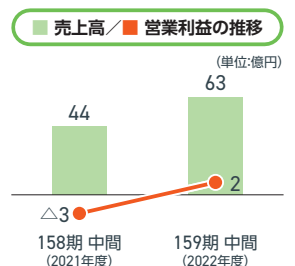
環境事業 売上高 **63億36百万円** (前年同期比 **41.5%増**)



イオン交換膜は、出荷が増加したこと等により、増益となりました。

廃石膏ボードリサイクルは、燃料コストの増加等はあったものの、廃石膏ボードの受入れが堅調だったことにより、前年同期並みの業績となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は63億36百万円(前年同期比41.5%増)、営業利益は2億98百万円(前年同期は営業損失3億54百万円)となりました。



連結貸借対照表

(百万円)

科目	前連結 会計年度 2022年3月31日	当第2四半期 連結会計期間 2022年9月30日
資産の部		
流動資産	223,950	270,864
固定資産	209,259	217,705
資産合計	433,210	488,569
負債の部		
流動負債	102,337	97,791
固定負債	97,954	149,075
負債合計	200,292	246,867
純資産の部		
株主資本	213,573	217,614
その他の包括利益累計額	10,932	11,976
非支配株主持分	8,411	12,111
純資産合計	232,917	241,702
負債純資産合計	433,210	488,569

連結損益計算書

(百万円)

科目	前第2四半期 連結累計期間 自2021年4月 1日 至2021年9月30日	当第2四半期 連結累計期間 自2022年4月 1日 至2022年9月30日
売上高	132,660	166,370
売上原価	86,865	120,528
売上総利益	45,795	45,842
販売費及び一般管理費	34,130	37,545
営業利益	11,665	8,296
営業外収益	3,256	5,642
営業外費用	2,923	3,068
経常利益	11,998	10,870
特別利益	2,568	138
特別損失	536	295
税金等調整前四半期純利益	14,031	10,713
法人税、住民税及び事業税	4,801	4,140
四半期純利益	9,229	6,572
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△27	7
親会社株主に帰属する四半期純利益	9,257	6,565

連結キャッシュ・フロー計算書

(百万円)

	前第2四半期連結累計期間 自2021年4月1日至2021年9月30日	当第2四半期連結累計期間 自2022年4月1日至2022年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	16,359	349
投資活動によるキャッシュ・フロー	△16,928	△16,270
財務活動によるキャッシュ・フロー	△8,209	31,792
現金及び現金同等物に係る換算差額	62	1,127
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△8,715	16,998
現金及び現金同等物の期首残高	83,050	82,496
連結子会社の決算期変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	870	—
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	—	21
現金及び現金同等物の四半期末残高	75,205	99,516

TOPICS

2022.7.26

アルカリ水電解装置製作・開発拠点開設を発表

水素を製造するアルカリ水電解装置の製作・開発拠点を、先進技術事業化センター(山口県柳井市)に開設します。23年6月頃の操業を予定し、世界最高レベルの低消費電力性能を強みに、水素社会の実現に貢献してまいります。



山口県庁での進出協定調印式の模様

2022.8.26

韓国STAC設立、高純度IPA現地生産へ

当社と韓国SK Geo Centric Co., Ltd.の合弁会社STAC Co., Ltd.を22年8月26日に設立しました。STACは、半導体の洗浄や乾燥に用いる高純度IPAを原料のプロピレンから一貫生産する製造販売会社で、24年7月の事業開始を目指しています。



現地で開催された起工式の模様

会社概要

商号	株式会社トクヤマ(英文表記:Tokuyama Corporation)
創立	1918年2月16日
本社	〒745-8648 山口県周南市御影町1-1 TEL.0834-34-2000
資本金	100億円
ホームページ	https://www.tokuyama.co.jp/

役員体制

取締役	代表取締役	横田 浩	化成品、セメント、監査室 担当
		杉村 英男	経営企画、CSR、総務人事、購買・物流、秘書室 担当
		野村 博	電子材料、徳山製造所、鹿島工場 環境安全・生産技術 担当
	取締役	岩崎 史哲	ライフサイエンス、環境事業、研究開発 担当
		取締役監査等委員	宮本 陽司
		加藤 慎	社外取締役
		河盛 裕三	社外取締役
		松本 直樹	社外取締役
		水本 伸子	社外取締役
	執行役員	社長執行役員	横田 浩
専務執行役員		杉村 英男	経営企画本部長 兼 ニュービジネスセンター所長
		野村 博	電子材料部門長
		岩崎 史哲	研究開発本部長
常務執行役員		谷口 隆英	セメント部門長
		執行役員	樽谷 豊
		藤本 浩	総務人事部門長
		田村 直樹	ライフサイエンス部門長
		西原 浩孝	化成品部門長
		井上 智弘	環境事業部門長 兼 セメント部門 副部門長
		佐藤 卓志	購買・物流部門長
		奥野 康	徳山製造所長

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで	公告の方法	電子公告の方法により行います。 ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。 公告掲載URL(https://www.tokuyama.co.jp/)
定時株主総会	6月	上場取引所	東京証券取引所 プライム市場
株主確定基準日	定時株主総会・期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日	証券コード	4043
株主名簿管理人・特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 [郵便物送付先] 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 [電話照会先]0120-232-711(通話料無料)		

「株主総会資料」書面をご希望の場合は、お手続きが必要です。

株主総会資料の電子提供制度が開始されるに伴い、2023年の当社株主総会資料を書面でお受け取りをご希望される場合は、2023年3月31日までにお取引のある証券会社又は上記株主名簿管理人を通じて、「書面交付請求」のお手続きをお取りいただく必要があります。詳しくは同封のリーフレットをご確認ください。

株式会社トクヤマ

<https://www.tokuyama.co.jp/> 〒745-8648 山口県周南市御影町1-1

お問い合わせ等がございましたら、下記の番号にご連絡ください。

TEL. 0834-34-2000 (総務グループダイヤルイン)